



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム  
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,972	△0.6	448	46.8	431	45.1	236	17.8
26年3月期第3四半期	9,026	1.3	305	△2.1	297	△5.4	200	△1.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 237百万円 (18.0%) 26年3月期第3四半期 201百万円 (△2.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	14.15	—
26年3月期第3四半期	12.01	—

(注) 平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	4,865	1,779	36.3	105.92
26年3月期	4,980	1,792	35.8	106.77

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,768百万円 26年3月期 1,782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	700.00	—	8.00	—
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用しています。なお、平成26年3月期第2四半期末の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	1.3	510	14.2	500	14.9	330	21.0	19.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	16,693,200 株	26年3月期	16,693,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	16,693,200 株	26年3月期3Q	16,693,200 株

(注)平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の我が国経済は、政府・日本銀行による経済・金融政策を背景とした企業収益・雇用状況の改善が見られたものの、消費増税後の消費マインドの弱さや円安による原材料価格の上昇などの影響を受けて、景況感は弱含みのうちに推移しました。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、スマートフォン・タブレット端末の急激な普及に伴い、増加したデータ量への対応が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン(スマートひかり)」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックス及びタクトシステム㈱においては、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が89億72百万円(前年同四半期比0.6%減)、営業利益が4億48百万円(前年同四半期比46.8%増)、経常利益が4億31百万円(前年同四半期比45.1%増)、四半期純利益が2億36百万円(前年同四半期比17.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」では、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、新規契約の獲得が伸び悩む一方、コスト削減に努めること等により、売上高は62億13百万円(前年同四半期比3.1%減)、セグメント利益は1億50百万円(前年同四半期比184.5%増)となりました。

#### 《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」では、印刷及び商業印刷物の企画・制作等を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、受注単価が減少傾向である一方、コスト削減に努めること等により、売上高は11億80百万円(前年同四半期比6.3%減)、セグメント利益は1億25百万円(前年同四半期比1.3%増)となりました。

#### 《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」では、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を提供しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、主に㈱保険ステーションの営業拠点拡大にともなう保険契約数の大幅な増加が寄与して、売上高は15億70百万円(前年同四半期比17.2%増)、セグメント利益は1億85百万円(前年同四半期比34.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は48億65百万円となり、前連結会計年度末比1億15百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少(1億57百万円)、前払費用及び長期前払費用の増加(4億94百万円)及び有形固定資産の減少(5億33百万円)によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は30億86百万円となり、前連結会計年度末比1億2百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(1億26百万円)、未払金の増加(1億52百万円)及び未払法人税等の減少(49百万円)によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における少数株主持分の残高は10百万円となりました。また、純資産の残高は17億79百万円となり、前連結会計年度末比13百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	894,390	736,904
受取手形及び売掛金	1,666,653	1,562,523
商品及び製品	58,949	49,897
仕掛品	61,892	169,013
原材料及び貯蔵品	8,338	7,790
前払費用	278,736	519,248
その他	544,625	649,578
貸倒引当金	△16,584	△17,660
流動資産合計	3,497,001	3,677,296
固定資産		
有形固定資産	685,466	152,232
無形固定資産		
のれん	71,790	56,699
その他	110,093	108,708
無形固定資産合計	181,883	165,408
投資その他の資産		
長期前払費用	356,733	610,744
その他	325,307	329,603
貸倒引当金	△65,838	△70,061
投資その他の資産合計	616,202	870,286
固定資産合計	1,483,552	1,187,926
資産合計	4,980,553	4,865,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,269,173	1,142,220
短期借入金	269,792	265,267
未払金	788,510	940,960
未払法人税等	83,893	34,823
賞与引当金	73,881	36,960
役員賞与引当金	24,350	26,550
その他	263,903	387,980
流動負債合計	2,773,505	2,834,763
固定負債		
長期借入金	240,676	105,000
退職給付に係る負債	116,345	121,193
その他	57,766	25,147
固定負債合計	414,787	251,340
負債合計	3,188,293	3,086,103

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,197,621	1,183,462
株主資本合計	1,782,329	1,768,170
少数株主持分	9,930	10,948
純資産合計	1,792,259	1,779,119
負債純資産合計	4,980,553	4,865,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	9,026,423	8,972,859
売上原価	7,128,683	6,702,297
売上総利益	1,897,740	2,270,561
販売費及び一般管理費	1,592,316	1,822,336
営業利益	305,423	448,225
営業外収益		
受取利息	169	205
違約金収入	3,821	17,670
その他	8,067	5,620
営業外収益合計	12,058	23,495
営業外費用		
支払利息	10,710	9,541
持分法による投資損失	5,997	29,217
その他	3,599	1,707
営業外費用合計	20,307	40,466
経常利益	297,174	431,254
特別利益		
投資有価証券売却益	12,886	—
持分変動利益	—	9,728
特別利益合計	12,886	9,728
特別損失		
貸倒引当金繰入額	24,650	—
固定資産売却損	27	156,278
減損損失	30,670	5,424
その他	5,902	17,065
特別損失合計	61,250	178,768
税金等調整前四半期純利益	248,810	262,214
法人税、住民税及び事業税	23,325	46,329
法人税等調整額	24,393	△21,372
法人税等合計	47,719	24,957
少数株主損益調整前四半期純利益	201,091	237,257
少数株主利益	596	1,018
四半期純利益	200,494	236,238

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201,091	237,257
四半期包括利益	201,091	237,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,494	236,238
少数株主に係る四半期包括利益	596	1,018

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP&Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,414,185	1,260,452	1,340,086	9,014,723	11,700	9,026,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,933	6,410	4,837	23,180	—	23,180
計	6,426,118	1,266,862	1,344,923	9,037,904	11,700	9,049,604
セグメント利益	52,722	123,991	137,725	314,439	5,598	320,037

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	314,439
「その他」の区分の利益	5,598
セグメント間取引消去	476
のれんの償却額	△15,090
四半期連結損益計算書の営業利益	305,423

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において25,398千円であります。

また、「コンサルティング事業」セグメントにおいてソフトウェアを減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5,271千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP&Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,213,672	1,180,706	1,570,896	8,965,275	7,583	8,972,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,767	8,209	4,343	30,319	—	30,319
計	6,231,439	1,188,916	1,575,240	8,995,595	7,583	9,003,179
セグメント利益	150,004	125,648	185,418	461,071	3,159	464,230

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	461,071
「その他」の区分の利益	3,159
セグメント間取引消去	△914
のれんの償却額	△15,090
四半期連結損益計算書の営業利益	448,225

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5,424千円であります。